

2020年11月24日
福岡国際空港株式会社

福岡空港国内線旅客ターミナルビルが 「優良消防用設備等消防庁長官表彰」を受賞

福岡国際空港株式会社では、2020年1月に再整備工事が完了した福岡空港国内線旅客ターミナルビルに導入した「火災に関する情報を相互に伝達する機能を有する複数の総合操作盤を用いた設備」、及び「大空間における排煙設備」の2件が、その創意工夫性および機能性を高く評価され、この度、「令和2年度優良消防用設備等消防庁長官表彰」（主催：消防庁）を受賞いたしました。

《受賞理由》

★「火災に関する情報を相互に伝達する機能を有する複数の総合操作盤を用いた設備」

大規模旅客ターミナルビル内に多数のテナントが入居し、地下鉄駅舎とも接続する特殊な施設において、空港ターミナルビルと地下鉄駅舎双方の防災センターの管理を一体化し、役割分担を明確化することで、在館者を適切に避難誘導できるシステムを構築したことが評価されました。（福岡市交通局と連名で受賞）



防災センターの総合操作盤

★「大空間における排煙設備」

地下鉄改札口と接続するアクセスホールの吹き抜け空間上部に、消防活動用として必要な自然排煙口を設け、吹き抜け空間を有効活用し、適切な排煙を行うことが出来る設備としたことが評価されました。



アクセスホールの吹き抜け空間



※「優良消防用設備等消防庁長官表彰」

消防庁長官が、他の模範となる優れた消防用設備等を優良消防用設備等として表彰することにより、高度な消防用設備等及び特殊消防用設備等の開発、普及を促進し、防火対象物の防火安全性能の向上に資することを目的としています。

参考リンク：令和2年度消防設備関係功労者等に係る消防庁長官表彰

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/b8daf2df3274d0b5d5ff0d256af7bb4bb173726d.pdf>)